

26. 海馬領域における亜鉛の電子顕微鏡的組織化学による検索の試み

京都府立医科大学第一解剖学教室
大塚 長康・○井端泰彦

ができるようになるが) ACPase はあたかも数コ以下の小体を大きく包裹するかのようになり、周囲細胞質とは極めて明確に境された、謂わば「活性域」として出現する。小体に直接、あるいはその辺縁に接して現われる ACPase 活性は比較的低い。

このような所見と注入後 1 週間乃至 2 週間経過した動物における所見と併せ考察し、Ceroid 様色素生成過程を追求する。

演者はこれまで 5 回にわたり当総会において海馬領域に亜鉛を含んだ物質が存在し、これが光顕的に苔状線維終末部に一致してみとめられることを報告した。しかしこれら亜鉛が微細構造上、神経終末のどこに局在しているのかという点については不明である。そこで今回は亜鉛の局在部位を超微細構造の上から決定しようと試みた。これまで岡本ら、Pihl らによって脾島 B 細胞の亜鉛を電顕的に検索する試みが行なわれている。しかしこれらの方法をそのまま海馬領域に適用しても好結果をうることはできなかつた。そこで固定液として、グルタルアルデヒド— H_2S 飽和溶液、ホルマリン— H_2S 飽和溶液、50%アルコール—飽和溶液などを使用し、証明法としては光顕的に用いる Timm 法を適用した。反応液の濃度、反応時間を種々検討し、できるだけ組織像を破壊せず、しかも反応像が明確にとらえられる方法を考察した。

27. ラフォラ小体の電顕的組織化学

岐阜大学医学部精神神経医学教室
難波 益之

はじめに徐々に発現する異常脳波と性格変化につづき、てんかん発作、ミオクロヌス、小脳症状が現われ、最後に急激な悪化ののち死亡するラフォラ病の中樞神経組織に、ラフォラ小体がある。

通常の固定法、Epon 812 包埋、クエン酸鉛染色を施したときのラフォラ小体は、約幅 $100\text{\AA}$ のぎこちなく技法かたした糸状構造よりなる。組織片をまず冷弱 Bouin 液で固定し、アルコールと水を通して OsO_4 で再固定した標本では、各々の糸状構造の中にはつきりとミエリン様構造が現われる。もし、冷弱 Bouin 液固定組織を Baker のピリジン抽出法で処理しておくと、ミエリン構造は失なわれる。

28. 前立腺上皮細胞の電顕組織化学的研究 (I)

関西医科大学第 2 病理学教室
○今 清・森井 外吉

生後 1 年以上のラット 12 匹 (対照 6, 去勢 1, 2, 3 週間後夫々 2) と生後 3 ケ月のラット 8 匹 (対照 2, 去勢 3 週間後 3, Testosterone propionate 1mg 3 週

同上 第1解剖学教室
平野 寛

間連日投与3)の前立腺後葉小片にグルタル固定後 Gomori の鉛法を施し、上皮細胞の超微細構造の変動と共に非特異性酸ホスファターゼの局在を観察した。上皮細胞を核周、ゴルヂー野及び先端に区分して検討すると、男性ホルモン投与により、粗面小胞体及びゴルヂー体は対照よりも強く発達し、核周の拡張した粗面小胞体と混在している相当数の dense body に酸ホの活性が強く認められるが、先端の dense body には酸ホの活性は殆んど認められない。老熟すると、先端の dense body が増加するが酸ホの活性はやはり認められない。去勢すると粗面小胞体、ゴルヂー体及び上記の dense body は殆んど消失し、傍核に酸ホ活性が認められる multivesicular dense body が出現する。以上前立腺上皮細胞内の dense body の分布と酵素活性に興味する所見がみいだされたので、それと分泌機能との関連を考究したい。

29. 粘液の組織化学による胃癌の考察

広島大学歯学部口腔病理学教室
○杉本 顕俊・平岡 治雄
国立呉病院研究検査科
桐本 孝次

胃腸の粘膜は分化の程度が高く、生産する粘液成分も複雑である。われわれは、生検手術・解剖によつて得られた胃腸の粘膜45例、胃癌腫125例(ブロック数225例)について組織化学的観察を試み、次のような成績を得た。(1)腸粘膜および腸上皮化生の胃粘膜には、AB-PAS 反応・異染色性反応・ムチカルミン染色などで酸性粘液反応を示す粘液がみられる(主として杯細胞)のに対して、固有の正常胃粘膜には中性粘液反応がみられる。(2)胃癌腫の125例のうち、酸性粘液反応陽性のものが91例(73%)と意外に多い。(3)以上、粘液の組織化学的所見に関する限り、胃癌と腸上皮化生との間には密接な関係があるとの示唆を得たので、その詳細を報告する。

30. 胃癌組織における Leucine aminopeptidase の組織化学的研究

第二報

---とくに Alcian blue 陽性物質と Alkaline phosphatase との関係---

昨年の本学会で胃癌組織の Leucine aminopeptidase (LAP) と腸上皮化生との関係について報告したが、今回は胃癌62例を対象に本酵素と Alcian blue 陽性物質(ALB) 及び Alkaline phosphatase(ALP) との関係について報告する。